

総合的な学習の時間の実践

留萌市

総合的な学習
5年

地域の職場を体験しよう

WAKU WAKU WORK ～ぼくらの夢をかなえ隊！～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

5年生になると自分の将来の夢や、就きたい職業などが子どもの間で少しずつ話題になります。そこで、子どもたちへ、仕事とは何かを実際に体験させてみることにしました。地域にある保育園、特別養護老人ホーム、児童センターの3つの施設で3度の仕事体験を行うことで、活動のステップアップを図りました。職業観を、「大変だ」「つらい」から、「やりがい」「楽しさ」といったプラスのイメージへ転換できることを願っての単元構成です。

学習活動の流れ（20時間）

将来の夢を考え、働くことについてのイメージを確認しました。マイナスに捉えている子どもも多かったです。

地域の3施設で職場体験を行いました。3度の訪問で、工夫と改善を行い、仕事内容を高めていきました。

かかった方を招いて、発表会を行いました。各施設の比較から、働くことのイメージを広げました。

自分の将来の夢について考えよう（2）

- ・ 将来の夢ベスト3を考えよう
- ・ 働いて○○なことかな？
- ・ どんなことか体験してみよう

仕事体験に挑戦しよう（6）

- ・ 3つの施設から選んで、仕事体験をしよう
- ・ 活動の反省を生かし、次の改善点を考えよう
- ・ 働くことが楽しくなってきた

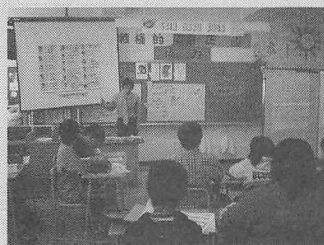
仕事体験を友達に伝えよう（9）

- ・ 楽しさや苦勞を友達に伝えたいな
- ・ 別のグループの友達に発表しよう

仕事体験を振り返り、将来の夢を考えよう（3）

- ・ 働いて○○なことなんだな
- ・ もう一度自分の将来の夢を考えよう
- ・ 今自分ががんばることは何かな？

単元の始めと終わりにイメージマップをつくり、自分の考えをはっきりさせました。3回の施設職業体験から、働くことの意識が変化していきます。



授業風景

教材・活動の Point!

1. 楽しさや、やりがいにせまる3度の職場体験

「大変だ」「つらい」というマイナスイメージもありましたが、まずは、実際に働くことを体験してみようとなげかけました。工夫や改善をしながらの3回の職場体験や、職員とのかかわりから、よさややりがいに迫り、働くことへのイメージをプラスに変化させたのです。

2. 様々な人と豊かにかかわる単元構成

保育園、特別養護老人ホーム、児童センターと3つの施設を訪問しました。そこでは、職員の方だけでなく、幼児やその保護者、お年寄りとの交流が必然的に生まれました。いろいろな人との温かな交流を通して、豊かな心を育て、自己の生き方を見つけ出すことができました。



3. 自分の将来の夢につなげ、未来を拓く力を！

単元の初めと終わりに、自分の夢ベスト3を考えました。漠然とした夢のイメージは、職場体験をすることでより具体的になっていたのです。職員の方を招き、将来のために今すべきことも伝えていただきました。そのことが、自分の生活や生き方を見つめ直すきっかけとなりました。

